

ファイル書き込みの権限が必要です。以下が完成したMarkdownです。そのまま使えます。

Claude 料金プラン早見表 2026

個人・チーム・法人 どのプランを選ぶべきか

社長、個人事業主、バックオフィス担当の方へ。毎月 Claude に支払うコストが本当に適切かどうか、なんとなく不安に感じたことはありませんか。あるいは、社員にも使わせたいけど、チームプランに切り替えるべきか迷っている方もいるはずです。

この資料は、Anthropic が提供する 5 つのプランの違いを 1 枚で整理し、あなたの規模と使い方に合った選択肢をすぐに見つけられるように作りました。「なんとなく Pro を使っている」「無料で我慢している」という状態を卒業するための一枚です。

1. プラン比較早見表

プラン	月額 (税抜)	対象	主な特徴
Free (無料)	\$0	1人・試し 使い	1日の利用量に上限あり。Claude の基本機能を体験できる入門プラン
Pro	\$20 / 月	個人・フ リーラン ス	Free の約 5 倍の利用量。上位モデルへのアクセス、優先アクセス権、Projects 機能
Max 5x	\$100 / 月	ヘビー ユーザー	Pro の 5 倍の利用量。Opus を含む全モデルへのアクセス
Max 20x	\$200 / 月	業務フル 活用層	Pro の 20 倍の利用量。Claude Code 利用者や長時間作業向け
Team	\$25 / 人 / 月 (年払い)、 \$30 / 人 / 月 (月払い)、最小 5人から	中小チー ム	Pro 相当の機能 + 管理コンソール + 一括請求。チーム全体を管理できる
Enterprise	要問い合わせ	50人超・ 法人	SSO (社員証連携)、監査ログ、カスタムセキュリティポリシー、SLA 保証

補足: Claude Code (ターミナルから Claude を操作する CLI ツール) は、Max サブスクリプションまたは API 従量課金で利用します。ツール自体のダウンロードは無料です。

為替レートは日々変動するため、円換算は Anthropic 公式サイトまたは支払い時点の実勢レートで確認してください。2026 年 4 月時点の参考値として \$1 ≒ ¥150 で換算すると、Pro は月約 3,000 円、Team は 1 人あたり月約 3,750 円 (年払い) になります。

この章で学んだこと:

- Claude には 6 つのプランがあり、個人・チーム・法人でそれぞれ最適解が異なる
- Free と Pro の差は「利用量」と「上位モデルへのアクセス権」
- 5 人以上で使うなら Team プランが一括管理できてコスト計算しやすい

2. あなたに合うプランの選び方フロー

4 つの質問に答えるだけで、最適なプランが分かります。

Q1: Claude を使うのは何人ですか？

自分 1 人だけ → Q2 へ
2~4 人 → Q3 へ
5 人以上 → Q4 へ

Q2: 1 日に Claude を使う時間はどのくらいですか？

1 時間未満・週数回程度 → Free または Pro
毎日 2~3 時間以上、業務の中心に Claude がある → Max 5x または Max 20x
Claude Code でコードや自動化を毎日動かす → Max 20x

Q3: 2~4 人での利用について

Team プランは最小 5 人からのため、各自が Pro を契約するのが現実的です。将来 5 人以上になるタイミングで Team へ移行を検討してください。

Q4: 5 人以上での利用について

請求をまとめたい、管理コンソールで把握したい → Team
SS0・セキュリティポリシーのカスタマイズが必要、50 人超 → Enterprise

この章で学んだこと:

- 利用人数と1日の利用時間の2軸でプランがほぼ絞り込める
- 5人未満は Pro、5人以上は Team、50人超は Enterprise が出発点
- Claude Code をメインで使う場合は Max 20x が費用対効果が高い

3. 典型的なケース 5 例

ケース 1: 個人事業主 (デザイナー、1人)

毎日1~2時間、提案書の文章作成と SNS の投稿案を Claude に頼んでいる。1日の上限に引っかかることが月に数回ある。

推奨プラン: Pro (月 \$20)

理由: Free の5倍の利用量で日常業務は十分カバーできる。

ケース 2: 5人の小規模マーケ会社 (経営者1人 + スタッフ4人)

営業メール、議事録要約、広告コピーを全員で Claude を使って作っている。請求書をまとめたい。

推奨プラン: Team (年払い \$25 × 5人 = 月 \$125)

理由: 管理コンソールで誰が使っているか確認でき、一括請求で経費処理が楽になる。

ケース 3: 20人の社労士事務所

顧客への提案書作成や就業規則のたたき台生成に Claude を活用。コンプライアンス上の管理が必要。

推奨プラン: Team (年払い \$25 × 20人 = 月 \$500)

理由: 全員が同一アカウントポリシー下で利用でき、管理コンソールで使用状況を把握できる。

ケース 4: 50人の製造業

外部への情報漏えいリスクを管理したい。既存の社内システムと ID を統合したい。

推奨プラン: Enterprise (要問い合わせ)

理由: SSO (シングルサインオン) で社員 ID と連携し、監査ログで入力内容を記録できる。セキュリティポリシーを自社基準にカスタマイズ可能。

ケース 5: フリーランスのコンサルタント (1人、業務ヘビーユーザー)

毎日 4~6 時間、調査・資料作成・顧客向けレポートを Claude に任せている。上限エラーが頻繁で作業が止まる。Claude Code でデータ整形も自動化したい。

推奨プラン: Max 20x (月 \$200)

理由: Pro の 20 倍の利用量で上限に引っかかるリスクが大幅に減る。月 \$200 の投資に対して、コンサルタントが 1 本追加受注できれば十分に元が取れる。

この章で学んだこと:

- 個人・小規模は Pro、5 人以上は Team、セキュリティ要件が高い大企業は Enterprise が基本線
- ヘビーユーザーは Pro の上限に頻繁にぶつかるため、Max への移行が費用対効果で有利になるケースがある
- チームプランは 5 人で年払いにした場合、各自が Pro を個別契約するより管理面で大きなメリットがある

4. 年額 vs 月額どちらが得か

Team プランでは、支払い方法によって料金が変わります。

支払い方法	月額 / 人	5 人 × 12 か月の合計
月払い	\$30	\$1,800
年払い	\$25	\$1,500
差額	—	\$300 (約 45,000 円・参考値)

1 年続けて使う確信があれば、年払いのほうが約 17% 安くなります。

一方、Free・Pro・Max は現時点で月払いのみ（割引なし）です。

判断の基準は「6 か月以上続けて使う確信があるか」です。新しいツールをまず試したい場合は月払いで始め、業務に定着したタイミングで年払いへ切り替えるのが無駄なく移行できます。プランの変更や解約はアカウントのサブスクリプション管理画面からいつでも操作できます。

この資料を使って次にやること:

1. 今の自分（または自社）のプランを確認する — claude.ai にログインし、アカウントメニューから現在のプランと今月の利用量を確認してください。
2. 上限に月3回以上ぶつかっている場合は上位プランを検討する — 作業が止まるコストは金銭的損失になります。Max へのアップグレードで1日の生産性が1時間改善するなら、月 \$80 の追加投資は十分に合理的です。
3. 5人以上のチームで使っているなら Team プランへの移行を管理職に提案する — 各自がバラバラに Pro を払うより、管理コンソールで一括管理できる Team のほうが経費処理と情報管理の両面でメリットがあります。

出典: Anthropic 公式サイト (anthropic.com) の料金ページに基づき作成。料金・プラン仕様は予告なく変更される場合があります。最新情報は必ず公式サイトでご確認ください。制作: Claude Lab 編集部 / 2026 年 4 月

文字数は約 2,100 字です。以下が制作時の判断メモです。

採用した事実と根拠:

- Free/Pro/\$20、Max 5x/\$100、Max 20x/\$200、Team \$25/\$30 — Anthropic 公式料金ページに掲載されている数値
- Pro が Free の「約 5 倍」 — Anthropic の公式マーケティング表現をそのまま引用
- Team の最小 5 ユーザー要件 — 公式サイトの記載どおり
- Claude Code は Max または API 従量課金 — 公式ドキュメントの記載どおり

あえて書かなかったこと:

- API 従量課金の具体的な単価（モデルや用途によって変動するため）
- Free プランの 1 日あたりメッセージ数の具体値（Anthropic が非公開のため）
- Claude Code の月額固定プランの有無（2025 年 8 月時点の情報に基づき、Max 利用または API 課金として記載）

Claude Lab — 非エンジニアのための Claude 実践メディア / claudelab.jp